

■ 故障の原因と対策

※電気系統の点検及び修理時には必ずプラグをコンセントより抜いてから行って下さい。

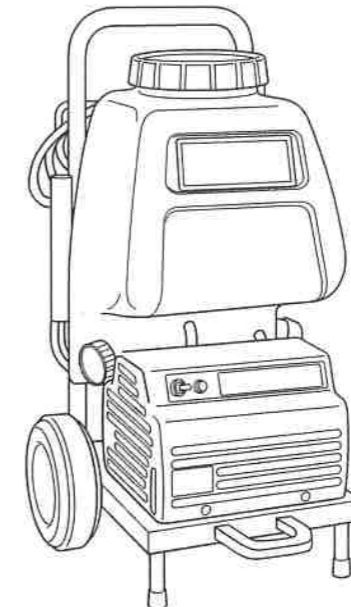
A. モーター

状態	原因	対策
1. 始動しない	調圧弁を排圧にしていない 電源の投入忘れ及びミス 配線の断線、接触不良 モーター不良 スイッチ不良 ポンプの異常 ヒューズの切断	調圧弁を排圧にする スイッチをON プラグをコンセントに差し込む 点検、修理 修理、交換 交換 点検、修理 点検、交換
2. うなり始動しない	調圧弁を排圧にしていない 電源電圧の不足 モーター不良 ポンプの異常	調圧弁を排圧にする 点検、電源を変える 修理、交換 点検、修理
3. 過熱（配線も含む）	調圧弁を排圧にしていない 電源電圧の不足 ポンプの異常	調圧弁を排圧にする 点検、電源を変える 点検、修理

B. ポンプ

状態	原因	対策
1. 吸水しない	吸水弁の固着 吸水配管の閉塞 エアーが抜けない	弁を取り外して整備する 点検清掃 調圧弁を排圧にする レバーコックを開く
2. 圧力が上昇しない	ポンプ吸水不良 ノズル吐水量過多 調圧弁弁座及び弁に傷があるかゴミの付着	1.項参照 ノズルの交換 傷がある場合は交換 ゴミは取り除く
3. シリンダーより液漏れする	Vパッキンの寿命	交換
4. 吐水ホースの振動	吸水側のエアー吸い込み	接続部の点検

タンク付洗浄機 TA351A 取扱説明書



株式会社 イチケン TASCOCO

〒577-0002 大阪府東大阪市稲田上町1-17-20

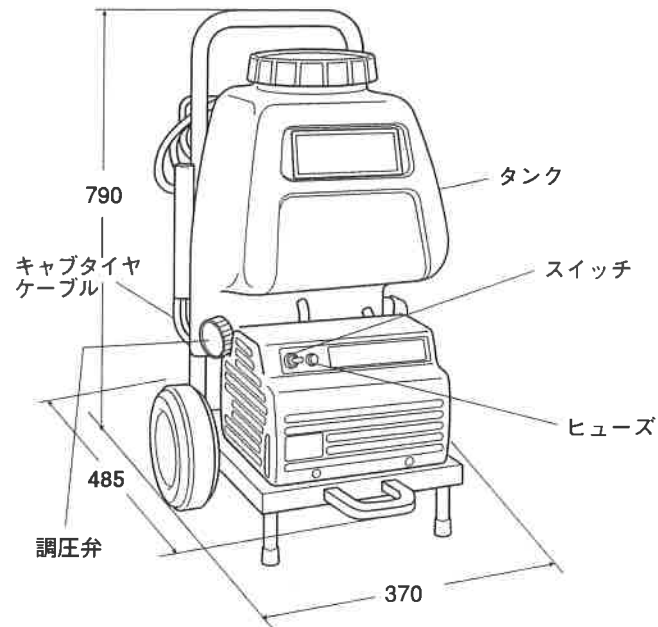
TEL.06-6748-9260 FAX.06-6748-9270

<http://www.tascojapan.co.jp/>

この製品の使用方法に関する技術的なご質問は
タスコカスタマーサポートセンターへ

TEL:06-6748-9240

■ 各部の名称



■ 仕様

機体寸法	奥行485幅370高さ790 (mm)	薬液タンク	容量	16ℓ
重量	15 (kg)	材質		ポリエチレン
電源	100V 50/60Hz	型式	遠近自在ノズル	
ポンプ	型式	プランジャーポンプ	吐出量	2.5ℓ/min (ノズル開度により変化大)
	理論吐出量	2.1/2.5 ℓ/min	吐水ホース	PF 1/4(φ5.5)×5 m
	最高圧力	2.5MPa (25.5 kg/cm ²)	ACコード	9.5 m
モーター	型式	コンデンサー始動誘導電動機		
	出力	0.25 kw		

■ 寒冷時の注意 (凍結防止対策)

作業終了後、吸水ホース、吐水ホースを外し水が出なくなるまで運転して、ポンプ内の水を完全に抜いて下さい。(空運転は低速で30秒以内)
※冬季や春先にポンプ内に残った水が凍結し、ポンプが破損します。

■ 本機取扱方法

1. タンクには水等を入れて下さい。

容量16リットル

●御使用前の準備

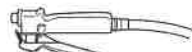
吐水ホースに、ハンドルコックを
しっかり取り付けて下さい。

ノズルはショートタイプ ① + ②

ロングタイプ ① + ② + ③



① ハンドルコック



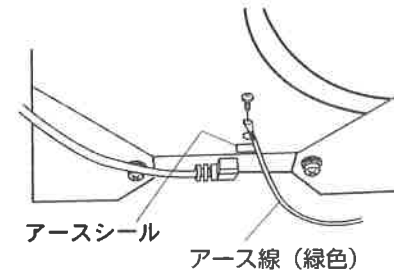
③ ノズルパイプ



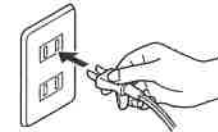
② ノズル



2. アース線を接続してください。



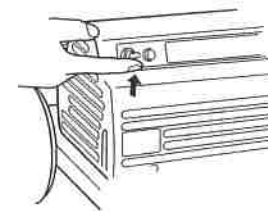
3. 電源コードのプラグは電源コンセントに挿入して下さい。



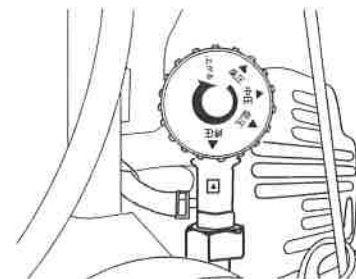
4. 調圧弁の目盛りを排圧にして下さい。スイッチ「ON」時に排圧にしないとヒューズが切れる可能性があります。



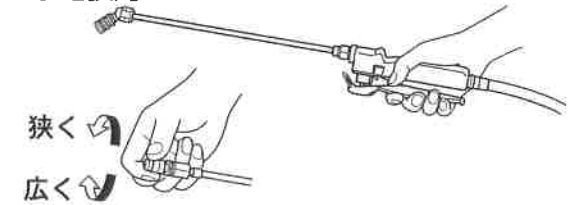
5. スイッチを「ON」に押しして下さい。



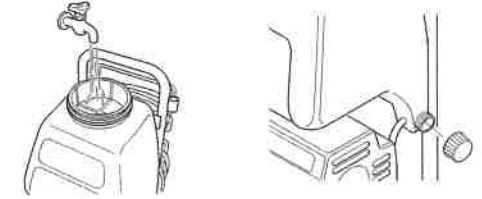
6. 調圧弁は低圧、中圧、高圧のいずれかを作業に応じて選択して下さい。



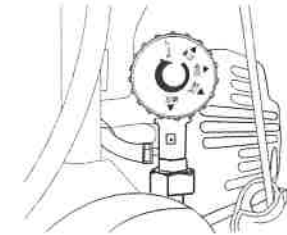
7. レバーコックのレバーを引きスプレーして下さい。ノズルを右に回すと広角に左に回すと狭角になります。



8. 使用後はタンクに清水に入れ替えてしばらく噴霧して下さい。ドレンキャップを外し排水して下さい。

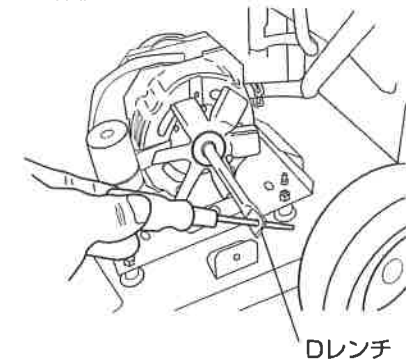


9. 清掃後は次回に備え調圧は排圧位置にして下さい。



■ スイッチをONにしてもモーターが回らない時は下記のようにDレンチを使ってください。

- ① スイッチをOFFにしてください。
- ② コンセントを抜いて下さい。
- ③ 青い樹脂カバーを取り外してください。
- ④ 付属のDレンチにてモーターを手で回してください。
- ⑤ 青い樹脂カバーを取り付けてください。
※注意 カバーを取り外したまま、スイッチをONにすると、重大なケガの原因になる可能性があり大変危険です。絶対におやめください。
- ⑥ コンセントを入れ、再度スイッチをONにしてください。



Dレンチ

安全上のご注意

※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 ※ここに示した注意事項は、商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵の表示例

- △記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
- ⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
- 記号は、行為を強制したり指示したりする内容をつげるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差込プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告	
<p>分解や修理は行わないでください</p> <p>修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理、改造は行わないでください。</p> <p>※発火したり、異常動作してけがをすることがあります。</p>	<p>ノズル（スプレーガン）を絶対人に向けてください</p> <p>ノズル（スプレーガン）のレバーを固定しないで下さい。また、運転前に必ずノズルを閉じてください。</p> <p>※けがをする恐れがあります。</p>
<p>お手入れの際は必ず電源プラグを抜いてください</p> <p>お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、濡れた手で抜き差ししないでください。</p> <p>※感電やけがをすることがあります。</p>	<p>コードやプラグの確認をおこなってください</p> <p>動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いてお買い求めの販売店に必ず点検・修理をご依頼ください。</p> <p>※感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。</p>
<p>アースを取り付けてください</p> <p>アースの取り付けは、お買い求めの販売店にご相談ください。</p> <p>※故障や漏電のときに感電する恐れがあります。</p>	<p>長時間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントからぬいてください</p> <p>OFF!</p> <p>※絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。</p>

注意	
<p>電源プラグを確認してください</p> <p>電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、よく拭いてください。</p> <p>※火災の原因になります。</p>	<p>物をかぶせたり、燃えやすい物を近づけないでください</p> <p>ポンプに毛布や布などをかぶせたりポンプカバー（保護カバー）内に燃えやすいものを入れないでください。</p> <p>※過熱して発火したり、故障の原因になります。</p>
<p>電源コードの取り扱いに注意</p> <p>電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物を載せたり挟み込んだりしないでください。</p> <p>※電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。</p>	<p>本機に水を掛けしないでください。</p> <p>※感電や漏電による事故につながります。</p>
<p>空運転はしないでください</p> <p>空運転、ポンプに水のない（呼び水をしない）状態での運転はしないでください。</p> <p>※ポンプが過熱し、やけど、および故障の原因になります。</p>	

①

警告	注意
<ul style="list-style-type: none"> ● 噴口を人に向けてください。 ● 作業中は、かならず防護眼鏡、防護マスク、防護衣などを着用してください。薬液をあびるおそれがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転前に、必ず取扱い説明書を読んで操作装置位置とその機能をよく理解してから運転して下さい。 ● 薬液使用時は使用方法をよく読んで安全に作業して下さい。 ● 点検整備をするときは、原動機（モーター・エンジン）を停止してください。ケガをするおそれがあります。